

令和7年産 JA尾張中央 水稻こよみ

(使用量は10a当り)

◎JA米の3要件
・種子更新・農産物検査の受検・栽培日誌の記帳

水管理について		水管理の状態		浅水・時々たん水	落水	間断かん水（高温時は、常時たん水またはかけ流し）	間断かん水	落水	この表記があるものはドローン散布可です		
作業項目	土づくり	播種	田植(基準)	中干し(田植後45日)	出穂	落水	収穫				
基準日	あいちのり 11月～3月 あいちのり 11月～3月	4/27～5/5 4/22～4/30	6月1日 5月27日	7/16～7/23 7/11～7/18	8/25～8/31 8/14～8/18	10月1日 9月23日	10月8日 9月30日				
作業ワンポイント	スクミリンゴガイ駆除のため土壌が乾燥して硬い厳寒期（1月～2月）に、トラクターの走行速度を遅く、PTO回転を速く（ロータリーの回転を速く）し、土壌を細かく砕くように耕うん。 ※未発生は場への貝の持ち込みを防止するため、使用後のトラクターに付着した泥を洗浄。	①播種量催芽初：150g ②箱数（目安）：10a当たり20箱 ③種まき前日に水から出して水を切る ④育苗日数（目安）：催芽7日（積算温度100℃） 出芽4日、緑化5日、硬化14日 ⑤温度管理の徹底：苗の徒長を防ぐため、25℃以上にならないように注意。	①植付け本数：3～4本 ②植付け深さ：2～3cm ③1坪の株数：60株（株間18cm） ④病害虫防除：初期病害虫対策のため、箱施薬剤を散布。 ⑤除草剤：散布後1週間はたん水状態（3～6cm）を保ちかけ流しはしない。	①開始時期：1株当たり茎数が20本程度になったら田面に軽く亀裂ができる程度に行う。 ②中干し後：一度にたん水状態にすると、根痛みするので、間断かん水で管理する。	①出穂前：稲の生育期間で最も水が必要。水を切らさないように注意する。 ②開花後：登熟期には水が必要で、稔実や品質の向上を図るうえで水は欠かせません。開花後は間断かん水で管理する。 ※本田への害虫侵入防止のため、畦畔の草刈りを出穂2週間前までに行う。	収穫5～7日前に落水する。 ※早期落水は、品質低下の要因になるので注意する。	もみが90%程度黄化したら収穫。 ※クサネムの種子が籾に混入すると選別できないため、刈取り前には必ず抜き取る。				
病害虫防除剤	 <p>■病害虫防除記載例</p> <p>記載番号 適用病害虫等</p> <p>【希釈倍数・使用量（10a当り）】</p> <p>使用時期/使用回数</p> <p>商品名</p>	<p>■種子消毒（24時間浸漬）</p> <p>農 2 いもち病・ばか苗病・もみ枯細菌病 【200倍】 テクリードCフロアブル</p> <p>農 3 イネシシガレセンチュウ対策 【1,000倍】 スミチオン乳剤</p> <p>■箱消毒</p> <p>農 1 苗箱消毒（浸漬） 【500倍】 イチバン</p>	<p>■床土消毒</p> <p>農 4 苗立枯病・ムレ苗防止 【播種時に500～1,000倍を1箱当り500mLかん注】 タチガレースM液剤</p>	<p>■箱施薬</p> <p>農 6 いもち病・白葉枯病・紋枯病・ウンカ類・イネツトムシ・ニカメイチュウ・コブノメイガ・フタオビコヤガ 育苗箱1箱当り50g 播種時（覆土前）～移植当日/1回 ルーチンエキスパート箱粒剤</p> <p>■ジャンボタニシ</p> <p>農 31 スクミリンゴガイ【1～4kg】 収穫60日前まで/2回以内 スクミノン</p>	<p>■本田防除剤（病害のみ）</p> <p>農 36 いもち病・紋枯病・稲こうじ病【3～4kg】 （※稲こうじ病 4kgのみ） 出穂30～10日前 但し、収穫30日前まで /2回以内 フジワンモンカット粒剤 ※稲こうじが発生した場合は必ず散布する。一度発生すると数年は菌が残る。</p> <p>■本田防除剤（害虫のみ）</p> <p>農 32 ウンカ類・ニカメイチュウ・コブノメイガ【3kg】 収穫30日前まで/3回以内 パダントレボン粒剤L</p> <p>農 33 ニカメイチュウ・コブノメイガ・イネツトムシ【1,500倍】 収穫21日前まで/6回以内 パダンSG水溶剤</p>	<p>■カメムシ類・ウンカ類</p> <p>農 42 カメムシ類・ウンカ類【3kg】 収穫14日前まで/2回以内 キラップ粒剤 ※出穂期より前に散布する。</p> <p>農 43 カメムシ類・ウンカ類【3kg】 収穫7日前まで/3回以内 スタークル粒剤 出穂～出穂10日後に散布する</p> <p>農 44 カメムシ類・ウンカ類【1,000倍】 収穫7日前まで/2回以内 エミリアフロアブル</p>			次ページにも使用可能な病害虫資材掲載		
	使用資材	<p>■土づくり</p> <p>農 農力アッププラス【60kg】 年内に施用して耕起する。</p> <p>肥 20 ケイ酸加里プレミア34【40kg】 倒伏防止、稔実、食味に効果がある。</p>	<p>■育苗培土</p> <p>肥 2 育苗培土かるがる君【1箱4kg】 ※10a当り20箱の場合80kg 又は</p> <p>肥 1 くみあい肥鉄培土2号【1箱5kg】 ※10a当り20箱の場合100kg</p>	<p>■水田基肥</p> <p>肥 18 ひとまきくんスーパーL【40～50kg】 又は 田植7～14日前程度に施用</p>	<p>肥 19 側条エーススーパーL【22.5～25.5kg】 田植時に施用</p>	<p>■中間施肥</p> <p>肥 22 NK化成エース【10kgまで】 葉色が薄い場合は、出穂18～20日前に施用</p> <p>肥 20 ケイ酸加里プレミア34【20kg】 倒伏防止、稔実、食味に効果がある。</p>					<p>●刈取後のポイント</p> <p>水田から発生する温室効果ガスを抑えるために、刈取後は早めに作業を行い、稲わらを土の中にすき込みましょう。</p>
	本田除草剤	<p>■本田除草剤資材例</p> <p>記載番号 商品名 使用時期</p> <p>【使用量（10a当り）】</p>		<p>■初中期除草剤</p> <p>2成分 農 12 ゼータプラス1キロ粒剤【1kg】/1回 又は</p> <p>3成分 農 14 流星1キロ粒剤【1kg】/1回 又は</p> <p>4成分 農 16 サラプレットGO1キロ粒剤【1kg】/1回</p>		<p>※ご利用にはデータ通信費が必要となります。データ通信費は、お客様のご負担となりますので、予めご了承ください。</p> <p>稲作こよみ・病害虫情報は、QRコードより取得できます。JA尾張中央HPからも見れます！</p> 				<p>農業使用に関しては、病害虫発生情報を元に使用してください。「栽培情報発信LINE」で情報を発信しています。</p> <p>栽培情報発信LINE ▶</p> 	

◎使用前には、農薬ラベルに記載されている適用内容を確認し、散布できる作物や使用量・濃度、使用時期そして成分ごとに、定められている総使用回数を必ず守ってください。散布した後は、ほ場ごとに使用した農薬や作業内容を必ず記録してください。
◎令和6年10月現在の登録内容に基づき作成されています。農薬の購入・使用時に、最新の情報を確認してください。

小牧東部営農生活センター ☎79-8000
小牧西部営農生活センター ☎73-4113
春日井営農生活センター ☎81-7363
春日井東部営農生活センター ☎51-1997

作成：JA尾張中央 農業振興部 営農指導課 ☎44-1001
作成指導：尾張農林水産事務所 農業改良普及課

使用可能な病害虫資材 (使用量は10a当り)

 この表記があるものはドローン散布可です

あいちのかおり	6月(田植え)	6月(田植後)	7月(中干し)中下旬~8月上旬	8月中旬~下旬	9月上旬
あいちのこころ	5月(田植え)	6月(田植後)	7月(中干し)上中旬~7月中下旬	8月上旬~中下旬	8月下旬
<p>■ 箱施薬</p> <p>農6 ルーチンエキスパート箱粒剤 育苗箱1箱当り50g 播種時(覆土前)~移植当日 /1回</p>	<p>■ スクミリングガイ(ジャンボタニシ)</p> <p>農31 スクミノン 1~4kg 収穫60日前まで/2回以内</p>	<p>■ 稲こうじ病</p> <p>→その他対象農薬) 農38 ブラシフロアブル【1,000倍】 収穫7日前まで/2回以内</p> <p>圃場内の土壌や被害わらで越冬した菌核などが伝染源となる。対策として、施肥を適切に行い窒素のやり過ぎ、遅効きに注意する。</p>	<p>■ 稲こうじ</p> <p>農41 モンガリット粒剤 3~4kg 収穫30日前まで/2回以内</p>	<p>■ 紋枯病</p> <p>農41 モンガリット粒剤 3~4kg 収穫30日前まで/2回以内</p>	<p>■ もみ枯細菌</p> <p>農38 ブラシフロアブル 1,000倍 収穫7日前まで/2回以内</p> <p>農37 コラトップ粒剤5 4kg 出穂30日前~5日前/2回以内</p> <p>農40 バリダシン液剤5 1,000倍 収穫14日前まで/5回以内</p>
<p>■ 箱施薬</p> <p>農7 Cs.オリゼリディアEV箱粒剤 育苗箱1箱当り50g 移植3日前~移植当日/1回</p>	<p>■ スクミリングガイ(ジャンボタニシ)</p> <p>農31 スクミノン 1~4kg 収穫60日前まで/2回以内</p>	<p>■ スクミリングガイ(ジャンボタニシ)</p> <p>茎葉を食害する。イネ稚苗では、茎を食いちぎり、葉鞘を食害する。ほかに食べ物がないと根まで食い荒らす。</p>	<p>■ いもち病</p> <p>農35 オリゼメート粒剤 3~4kg 出穂3~4週間前 但し、収穫14日前まで /2回以内</p>	<p>■ 白葉枯病</p> <p>農35 オリゼメート粒剤 3~4kg 出穂3~4週間前 但し、収穫14日前まで /2回以内</p>	<p>■ 1剤選択する</p> <p>農36 フジワンモンカット粒剤 3~4kg (※稲こうじ病 4kgのみ) 出穂30日~10日前 但し、収穫30日前まで /2回以内</p>
<p>■ 箱施薬</p> <p>農5 リディアNT箱粒剤 育苗箱1箱当り50g 移植3日前~移植当日/1回</p>	<p>■ スクミリングガイ(ジャンボタニシ)</p> <p>農31 スクミノン 1~4kg 収穫60日前まで/2回以内</p>	<p>■ チョウ目</p> <p>散布目安:7月中旬~7月下旬</p> <p>農32 パダントレボン粒剤L ニカメイチュウ・コブノメイガ 3kg 収穫30日前まで/3回以内</p>	<p>■ 1剤選択する</p> <p>農33 パダンSG水溶剤 イネツトムシ・コブノメイガ・ニカメイチュウ 1,500倍 収穫21日前まで/6回以内</p>	<p>■ 1剤選択する</p> <p>農35 オリゼメート粒剤 3~4kg 出穂3~4週間前 但し、収穫14日前まで /2回以内</p>	<p>■ 2剤選択する</p> <p>農42 カメムシ類</p> <p>農42 キラップ粒剤 3kg 収穫14日前まで/2回以内</p> <p>農43 ウンカ類</p> <p>農43 スタークル粒剤 3kg 収穫7日前まで/3回以内</p> <p>農44 エミリアフロアブル 1,000倍 (ドローンは8倍) 収穫7日前まで/2回以内</p>
<p>■ 箱施薬</p> <p>箱施薬不使用</p>	<p>■ スクミリングガイ(ジャンボタニシ)</p> <p>農31 スクミノン 1~4kg 収穫60日前まで/2回以内</p>	<p>■ イネツトムシ(ハマキ)</p> <p>7月中旬から発生に注意し、多発時には若齢幼虫発生時に防除する。イネの葉を数枚つづり合わせて「つと」様の巣を作り、昼間はこの中にひそみ、夜出て葉をむさぼり食う。</p>	<p>■ いもち病</p> <p>→その他対象農薬) 農37 コラトップ粒剤5【3~4kg】 出穂30日前~5日前まで/2回以内 →その他対象農薬) 農38 ブラシフロアブル【1,000倍】 収穫7日前まで/2回以内</p> <p>全生育期間を通じて発病。発生した場所により「苗いもち」「葉いもち」「穂いもち」などに分けられる。低温・多雨が連続と「いもち病」の発生が懸念されるため、田んぼを巡回して早期発見し、薬剤による早期防除が重要。</p>	<p>■ 白葉枯病</p> <p>葉先に近い葉縁が黄緑色、浸潤状になり、後に葉脈に沿って細長い波形の黄色病斑を生じ後に白色に変化する。発病適温:23~27度</p>	<p>■ もみ枯細菌病</p> <p>育苗時に苗腐敗症として発病する場合と、出穂期以降にもみに発生する場合がある。腐敗症には、幼苗が湾曲して発芽し、白色から褐色に変色する。もみの発病は、乳熟期頃からで、緑色の穂の中に白色の萎凋したもみが見られ、後に灰白色ないし、淡黄色となって稔実不良となる。</p>
<p>■ コブノメイガ</p> <p>6月下旬~7月中旬に飛来。窒素過多や晩生の稲に多発することが多い。イネの葉肉を食害。食害部分が白く変色。成虫発生ピークから7~10日後を目安とした若齢幼虫の防除が効果的。</p>	<p>■ フタオビコヤガ(イネアオムシ)</p> <p>幼虫は、葉を切り取るように食害。葉肉を食害し、表皮にかすり状の白斑を残す。発生状況を確認して、被害を受けた場合は、できるだけ早く防除する。</p>	<p>■ ニカメイチュウ</p> <p>虫が葉鞘や茎の内部に潜って入り、茎の中を食害するため、芯が枯れて、葉鞘は褐変する。</p>	<p>■ 紋枯病</p> <p>→その他対象農薬) 農39 リンバー粒剤【3~4kg】 収穫30日前まで/2回以内 →その他対象農薬) 農40 バリダシン液剤5【1,000倍】 収穫14日前まで/5回以内</p> <p>最初、病斑は水際に近い葉鞘部に発生する。梅雨期の温度が高く、高温条件が続くと発病が増加する。また、前年に発生が多いと感染源の菌核形成が多く、発生を助長する。</p>	<p>■ カメムシ類</p> <p>稲の穂から汁を吸い、斑点米を作る。</p>	<p>■ ウンカ類</p> <p>→その他対象農薬) 農45 トレボン粒剤【2~3kg】 収穫21日前まで/3回以内</p> <p>トビイロウンカ(秋ウンカ) 8月下旬以降に爆発的に増加する。株元付近に寄生、吸汁するため、発見が遅れ「坪枯れ」を招きやすい。気づいたときには、粒剤ではなく水溶剤やフロアブル剤を株元中心に散布する。</p>

◎使用前には、農薬ラベルに記載されている適用内容を確認し、散布できる作物や使用量・濃度、使用時期そして成分ごとに、定められている総使用回数を必ず守ってください。散布した後は、ほ場ごとに使用した農薬や作業内容を必ず記録してください。
◎令和6年10月現在の登録内容に基づき作成されています。農薬の購入・使用時に、最新の情報を確認してください。

小牧東部営農生活センター ☎79-8000
小牧西部営農生活センター ☎73-4113

春日井営農生活センター ☎81-7363
春日井東部営農生活センター☎51-1997

作成: JA尾張中央 農業振興部 営農指導課 ☎44-1001
作成指導: JAあいち経済連 生産資材部 肥料農業新技術課

令和7年産 土づくり資材と除草剤

(使用量は10a当たり)

土づくり

時期	10月	11月	12月	1~3月	4月	5月			
わら腐熟促進剤	ワラクサーEX 【9.5kg】						稲刈り後早めに散布し、1ヶ月くらい放置した後、すき込む。	秋冬予約	
	又は		石灰窒素 【20kg】					年内にできるだけ早い時期にわらの上に散布した後、すき込む。	肥13
土壌改良資材	農カアッププラス 【60kg】			又は				施用後、耕起する。	秋冬予約
						ホスピタ 【40kg】		施用後、耕起する。	肥4

時期	除草体系	商品名 【使用量・希釈倍数(参考)・散布液量】/使用回数	省力剤 【使用量・希釈倍数(参考)・散布液量】/使用回数
----	------	---------------------------------	---------------------------------

田植え前後	初期除草剤	メテオフロアブル 【500ml原液】/2回以内	農8 植代(代かき後)~移植前7日 又は移植直後~ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで
		又は クリアホープフロアブル 【500ml原液】/1回以内	

※ 薬剤除去効果が高いため、スクミノ等のジャンボタニシ殺菌剤と併用がおススメです。

田植え前後	初期除草剤	メテオジャンボ 【300g(パック10個)】/ 1回以内	農11 植代(代かき後)~移植前7日 又は移植直後~ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで
-------	-------	------------------------------------	-------------------------------------------------------

田植え直後	初中期除草剤	ゼータプラス1kg粒剤 【1kg】/1回	農12 移植直後~ノビエ4葉期 但し、移植後60日まで	
		又は 流星1kg粒剤 【1kg】/1回以内		農14
		又は サラブレットGO1kg粒剤 【1kg】/1回以内		農16

たん水状態で散布し、3~4日間は通常のたん水状態(水深3~5cm)を保ちかけ流ししない。※ジャンボ剤の処理については、推進5~6cmのたん水状態にすること。

田植え直後	初中期除草剤	ゼータプラスジャンボ 【200g(パック10個)】/1回	農13 移植後3日~ノビエ4葉期 但し、移植後30日まで	
		又は 流星ジャンボ 【400g(パック10個)】/1回以内		農15
		又は サラブレットGOジャンボ 【400g(パック10個)】/1回以内		農17

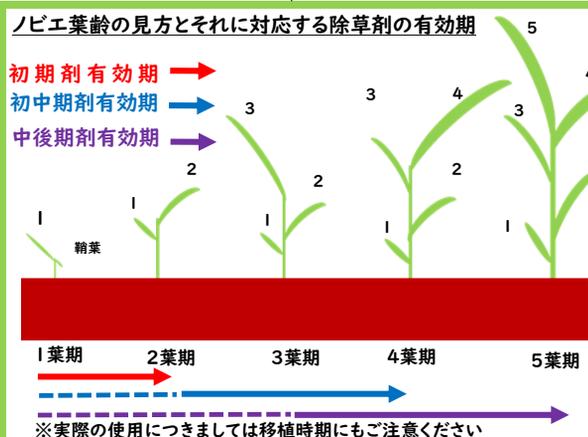
田植え後2週間	粒剤	ゲパード1kg粒剤 【1kg】/1回	農18 移植後14日~ノビエ4葉期 但し、移植後60日まで	
		バサグラン粒剤 【3kg】/1回		農20 移植後15日~45日まで
	液剤	クリンチャーバスME液剤 【1,000ml・100倍・100ml】/2回以内	農26 移植後15日~ノビエ5葉期 但し、移植後50日まで	
		バサグラン液剤 【700ml・100倍・70ml】/2回以内		農21 移植後15日~45日まで
		ロイヤント乳剤 【200ml・500倍・100ml】/2回以内		農27 移植後20日~ノビエ5葉期 但し、移植後45日まで

田植え後2週間	粒剤	サキガケ楽粒 【250g】/1回	農22 移植直後~ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	
		カウンシルコンプリートジャンボ 【300g(パック10個)】/1回		農23 移植後5日~ノビエ3.5葉期 但し、移植後30日まで
	液剤	アトカラSジャンボMX 【500g(パック20個)】/1回以内	農24 移植後14日~ノビエ3.5葉期 但し、移植後45日まで	
		ゲパードジャンボ 【400g(パック10個)】/1回以内		農19 移植後14日~ノビエ4葉期 但し、移植後60日まで
		レプラスジャンボ 【400g(パック10個)】/1回以内		農25 移植後14日~ノビエ4葉期 但し、移植後60日まで

ヒエが多いとき	粒剤	クリンチャー1kg粒剤 【1kg】/2回以内	農29 移植後7日~ノビエ4葉期 但し、収穫30日まで
		クリンチャーEW 【100ml・1,000倍・100ml】/2回以内	

クリンチャージャンボ 【1kg(パック20個)】/2回以内	農28 移植後7日~ノビエ4葉期 但し、収穫30日まで
----------------------------------	-----------------------------------

畦畔用除草剤	ザクサ液剤 【500ml・200倍・100ml】/2回以内	農47	バスタ液剤 【500ml・200倍・100ml】/3回以内	農46
刈取後除草剤	ラウンドアップマックスロード 【500ml・200倍・100ml】/3回以内	農48	草枯らしMIC 【500ml・200倍・100ml】/1回以内	農50



小牧東部営農生活センター ☎79-8000 春日井営農生活センター ☎81-7363
 小牧西部営農生活センター ☎73-4113 春日井東部営農生活センター ☎51-1997
 作成:JA尾張中央 農業振興部 営農指導課 ☎44-1001
 作成指導:JAあいち経済連 生産資材部肥料農業新技術課